

文化生活部
kurashi@kumanichi.co.jp
TEL:096-361-3020 FAX:096-361-3290

くらし | Life |

月、水、金曜日掲載

元保護犬の黒柴「ガク」がわが家に来ました。ありがたいことにガクは3日目にはもう「私は子犬の頃からいますけど」といな顔をしてなじんでいました。

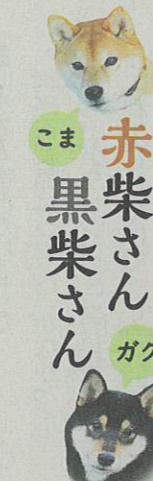
姉貴分の赤柴「こま」とは年齢が四つほど離れていますが、中身は同じくらいのよつな気がします。こまは突然「姉」と呼ばれるようになつたものの、それは人間側の都合。そんな急にオトナにはなれません。

「構つて構つて」とガクに付きまとわれたり、挑発されてムキになつたりしているこまを見て、私は思いました。「こまとガクは『あほレベル』と同じだ

上下関係を気にせずお友達と一緒にガクは3日目にはもう「私は子犬の頃からいますけど」といな顔をしてなじんでいました。

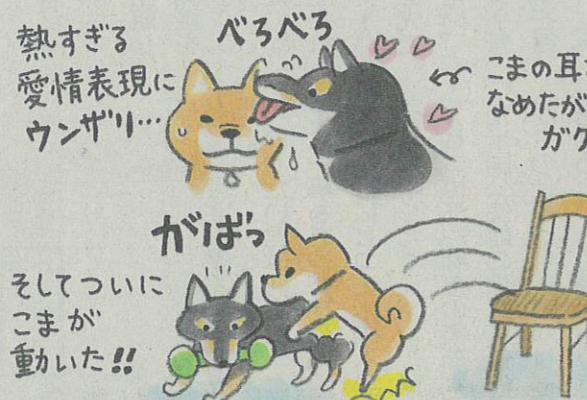
姉貴分の赤柴「こま」とは年齢が四つほど離れていますが、中身は同じくらいのよつな気がします。こまは突然「姉」と呼ばれるようになつたものの、それは人間側の都合。そんな急にオトナにはなれません。

「構つて構つて」とガクに付きまとわれると、いつも椅子の上に避難します。その椅子の上か



影山直美

2匹は同レベル



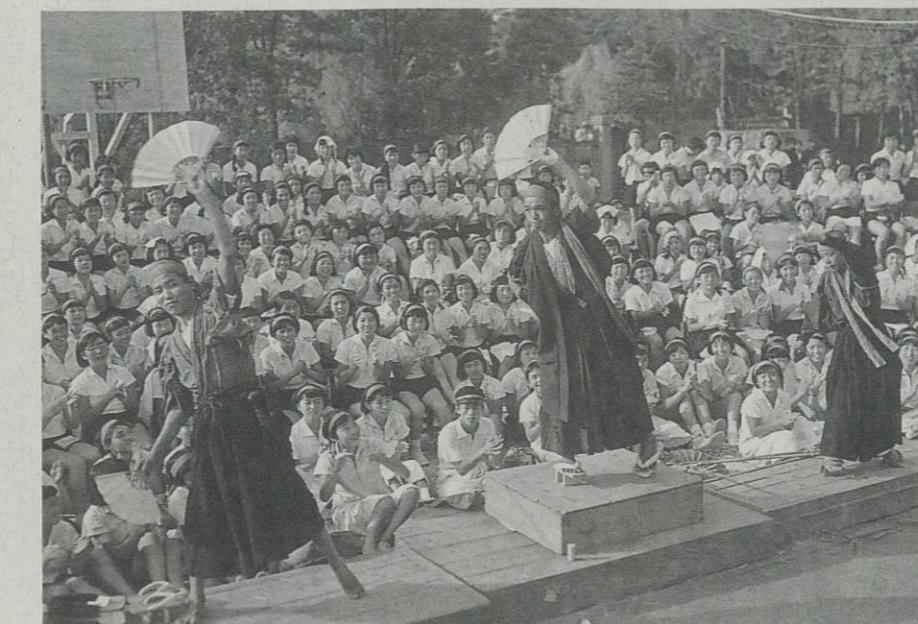
上下関係気にせず仲良し

ら、ガクの動きをジーッと目で追っているのです。ちょっと思ひ浮かべてほしいのですが、川の浅瀬で素手で魚を捕まえようとしている人、あんな感じです。こまの意図を感じた私は、「見守ろう！」と鼻息を荒くしました。

何日かそれが続いた後にこまがやりました。椅子の上から飛び降りて、ガクの腰にガバッとしたしがみついたんです。マウンティングです。自分が優位であると示したかったのでしょうか。私は心の中でガツツボーズ！ これでガクはこまの言うことを少しは聞くようになるかも。

ところが数日後。今度はこまがガクにマウンティングされないではありませんか。もう單なる遊びです。2匹はやっぱり同レベル。うん、それでいいのだ。(イラストレーター)

男女共学 ジェンダーの源流



1956年の第一高校運動会で応援団長を務める男子生徒。「男女共学の成立」によると、56年の男子生徒は64人(4.5%)。50~55年は100~300人が在籍していた

戦後進められた公立高校の男女共学化を、ジェンダーの視点から捉え直す『男女共学の成立』が出版された。編著者の一人で熊本市出身の小山静子・京都大名誉教授(日本教育史)は、男女比が極端に偏っていた同市内の事例も取り上げた。「女子の方が男子より成績が良くても四年制大学への進学率が低いなど、教育現場には今もジェンダーの課題が存在する。歴史を知ることで、なぜこのような問題が生じているか見えてくるのではないか」と語る。

本書は研究者10人による共著。占領下の教育改革による男女共学がどのように受け入れられたかを、新制高校の成立(1948年)から10~15年間を視野に検証。全国11地域を例に、地域によって受容に差があったことを明らかに



六花書店・3300円

小山静子・京都大名誉教授(熊本市)ら出版

熊本、東京など 新制高校 成立時を検証

鹿児島市の事例を紹介。それ

48年当時、熊本市の公立普通科高校は、旧制中学を前身とする済々黌と熊本、高等女学校が前身の第一と市立の4校。市立を除く3校には小学校区制が導入され、一度は共学化が進んだ。しかし、前身校の校風が「伝統」として重視されていたため、学校選択に「生徒の希望区制は54年に廃止された。その結果、済々黌と熊本に男子、第一に女子が集中することになり、共学は有名無実化する。小学校区制が廃止された背景について、小山さんは議論や新聞などの議論をたどり、「女子受け入れによる学校設備の財政負担の問題が、共学をやめる論拠として示されている」(高女が前身では)男のいうジェンダーにふさわしい教育が、十分に行えないと考えられていた」と分析。共学はGHQから降りてきたものという認識があったのだろう」とみる。

日高利泰・熊本大准教授は、都教委はこうし9月、男女別定員の撤廃を打ち出している。都教委はこうし9月、男女別定員の撤廃を打ち出している。方があが変わっている」と指摘。小山さんも「前身为旧制中学校のいわゆる進学校は女子の区組みを維持しようとした」と今田絵里香・成蹊大教授が反映された。「男女比の偏り、男女別定員・入学定員を設け、戦前の男子校・女子校の統廃合を避けた東京都は当初、男女別学でスタート。軍部の圧力で共学化したが、都などは「前身校を継承した新制高校で共学を導入」した。

枠組み維持

有名無実化

そのパターンは三つに大別できるといふ。福島県などは「男女別学を維持」、鹿児島県などは「旧制中学や女学校を統合し、共学の新制高校を設置」、そして熊本市や東京市などは「前身校を継承した新制高校で共学を導入」した。

した。

それ2校あった旧制中学と高女の「対等合併」で誕生した

公立普通科高校は男女共学の原則が浸透していったが、その背景には、ラ・サールとい

う私立エリート男子校の新設があると指摘した。